



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,699	4.9	192	61.5	191	90.1	38	8.4
2019年3月期第3四半期	12,303	1.9	119	5.2	100	5.0	42	27.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 74百万円 (243.1%) 2019年3月期第3四半期 21百万円 (68.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	18.10	
2019年3月期第3四半期	19.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,608	6,189	42.4
2019年3月期	15,486	6,115	39.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,189百万円 2019年3月期 6,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,652	4.2	250	35.1	247	96.0	29		13.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,139,434 株	2019年3月期	2,139,434 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,343 株	2019年3月期	1,164 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,138,215 株	2019年3月期3Q	2,138,433 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復基調にあるものの、米中通商問題、英国EU離脱問題等による海外経済情勢の不安定性が見られ、依然として先行き不透明な状況にて推移しました。

外食産業におきましては、消費者の根強い節約志向に加え、牛肉等の原材料価格の高止まり、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、さらに10月の大型台風等の天候不順が客足に影響を及ぼすこととなり、厳しい経営環境が継続しました。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、付加価値の高いメニューの開発や既存店舗の改装を推進し、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。また、お客様のニーズの多様化、高度化に対応すべく、食べ放題専門店等新たな業態の開発にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高116億99百万円（対前年同期比4.9%減）、営業利益1億92百万円（対前年同期比61.5%増）、経常利益1億91百万円（対前年同期比90.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円（対前年同期比8.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は181店舗であります。内訳は直営131店舗、暖簾13店舗、FC37店舗であります。

販売促進につきましては、10月にスマホアプリ（安楽亭アプリ）をリニューアルし、スタンプカードや誕生日クーポン等特典を充実させ、お客様とのつながりを深めるツールとして機能を拡充しました。また、季節のイベントとして、10月に「安楽亭×ハロウィン」、11月に「祝 七五三キャンペーン」、12月に「ヤキニクリスマス」と銘打ってフェアを毎月開催し、お得なクーポンやグッズプレゼント等楽しさを前面に出してアピールし、来店促進を図りました。

また、新商品企画として、安楽亭自慢のタレをクローズアップした「贅沢ダレ焼肉フェア」を開催し、バラエティに富んだ特製の「贅沢ダレ」と焼肉との組み合わせをお楽しみいただくメニューを提供してご好評をいただきました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は97億2百万円（対前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5億84百万円（対前年同期比27.2%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「食べ放題10%OFFクーポン」、「50%増量クーポン」等のお得なクーポン配信にて来店促進を図った他、冬季限定の「もつ鍋フェア」の開催等七輪房の楽しさを伝えるフェアを実施し、LINE配信等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は17億14百万円（対前年同期比6.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は69百万円（対前年同期比19.7%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、FC5店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「アグリコ(イタリアン)」、「カフェビーンズ(喫茶)」及び新業態の「えんらく(焼肉食べ放題)」、「香港式中華バル ネイザンロード(中華)」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億82百万円(対前年同期比6.9%減)となり、セグメント損失(営業損失)は34百万円(前年同期はセグメント損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ8億77百万円減少し、146億8百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ9億51百万円減少し、84億19百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し、61億89百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,955,696	2,287,183
受取手形及び売掛金	421,191	449,338
商品及び製品	127,219	179,704
仕掛品	956	466
原材料及び貯蔵品	601,611	766,829
前払費用	203,354	189,255
その他	53,918	74,752
貸倒引当金	△5,098	△5,012
流動資産合計	4,358,850	3,942,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,697,335	2,739,480
機械装置及び運搬具(純額)	95,480	74,842
工具、器具及び備品(純額)	301,286	322,307
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	16,213	3,503
建設仮勘定	221,222	36,681
有形固定資産合計	8,335,463	8,180,739
無形固定資産		
のれん	32,011	75,577
その他	129,669	132,737
無形固定資産合計	161,681	208,314
投資その他の資産		
投資有価証券	64,728	60,918
長期貸付金	5,896	10,990
長期前払費用	19,601	23,271
繰延税金資産	153,809	119,406
敷金及び保証金	2,376,896	2,054,575
その他	35,833	33,958
貸倒引当金	△26,048	△25,972
投資その他の資産合計	2,630,717	2,277,147
固定資産合計	11,127,862	10,666,202
資産合計	15,486,712	14,608,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,482	647,870
短期借入金	1,060,713	1,065,408
リース債務	15,109	3,204
割賦未払金	186,788	183,664
未払金	185,517	146,401
設備関係未払金	129,826	8,600
未払費用	475,777	465,974
未払法人税等	122,484	48,799
未払消費税等	119,535	89,460
賞与引当金	71,000	41,961
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	567,107	525,574
流動負債合計	3,515,639	3,240,216
固定負債		
長期借入金	4,503,555	3,879,479
リース債務	1,534	—
長期割賦未払金	519,189	490,641
繰延税金負債	104,751	104,782
役員退職慰労引当金	368,569	344,237
転貸損失引当金	36,133	26,160
退職給付に係る負債	223,167	223,628
その他	98,534	110,485
固定負債合計	5,855,436	5,179,414
負債合計	9,371,076	8,419,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	495,853	534,554
自己株式	△6,704	△7,601
株主資本合計	6,143,632	6,181,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,611	8,474
為替換算調整勘定	△384	△822
その他の包括利益累計額合計	△27,995	7,652
純資産合計	6,115,636	6,189,088
負債純資産合計	15,486,712	14,608,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	12,303,744	11,699,301
売上原価	4,494,710	4,263,900
売上総利益	7,809,033	7,435,401
販売費及び一般管理費	7,689,979	7,243,154
営業利益	119,053	192,246
営業外収益		
受取利息	1,260	830
受取配当金	1,881	1,990
受取地代家賃	5,493	4,722
貸倒引当金戻入額	181	161
その他	31,132	23,267
営業外収益合計	39,949	30,973
営業外費用		
支払利息	51,246	26,039
その他	7,003	5,647
営業外費用合計	58,250	31,687
経常利益	100,752	191,533
特別利益		
固定資産売却益	635	15,267
受取保険金	50,185	53,047
受取補償金	—	25,000
特別利益合計	50,821	93,315
特別損失		
固定資産除却損	7,375	10,785
固定資産圧縮損	—	50,185
投資有価証券評価損	—	39,926
賃貸借契約解約損	1,556	8,030
訴訟和解金	3,287	—
災害による損失	—	2,229
特別損失合計	12,219	111,157
税金等調整前四半期純利益	139,354	173,691
法人税、住民税及び事業税	71,442	100,586
法人税等調整額	25,666	34,403
法人税等合計	97,109	134,989
四半期純利益	42,245	38,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,245	38,701

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	42,245	38,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,358	36,085
為替換算調整勘定	△214	△437
その他の包括利益合計	△20,572	35,647
四半期包括利益	21,672	74,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,672	74,349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,173,896	1,826,901	302,946	12,303,744	12,303,744	—	12,303,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,173,896	1,826,901	302,946	12,303,744	12,303,744	—	12,303,744
セグメント利益又は 損失(△)	459,237	86,830	△7,091	538,975	538,975	△419,921	119,053

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,702,850	1,714,384	282,065	11,699,301	11,699,301	—	11,699,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,702,850	1,714,384	282,065	11,699,301	11,699,301	—	11,699,301
セグメント利益又は 損失(△)	584,269	69,767	△34,980	619,056	619,056	△426,809	192,246

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、株FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。